

ほほえみだより

吉田保育所 平成25年1月



『ほほえみだより』『給食便り』はホームページでもご覧いただけます。 <http://hohoemi-yoshida.com/>

吉田保育所

検索

新年あけましておめでとうございます。
 新しい年が子どもたちにとって、ご家族の皆様にとって、
 そして、地球上のすべての子どもと大人にとって
 幸せな一年になりますように ♥ と願いながら、
 私たちにできることは本当に小さなことでしかありませんが、
 それでも、一つずつ、少しずつやっていきたいと思っています。
 本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



12月15日(土) 餅つき会を行いました。

おじいちゃん・おばあちゃんたちにお手伝いしてもらって、おいしいお餅ができましたよ。できたおもちはお雑煮、きな粉餅、醤油餅にしてたべました。つきたてのお餅の美味しさを、みんなで味わいましたよ。

おじいちゃんたちが程よくついてくれた後、♪も〜ちつきべったんこ♪の歌に合わせて、子ども達が交代でつきました。

保存ができて添加物等の心配もない美味しい“お餅”。日本の素敵な食文化を、子ども達に伝える「餅つき会」です。



おばあちゃんと一緒におもちを丸める1才児。つきたてのお餅と粉の感触、色、香り、そして、食べたときの味。

お餅を五感で味わい覚えていく子ども達です。その記憶は、おばあちゃんやおじいちゃんのやさしさ、あったかさが、いつまでもくっついていて離れない、素敵な思い出になることでしょう。

ご参加下さったご家族の皆様、ご協力ありがとうございました。

大根やカブ、白菜、ネギなどの冬野菜には体を温める効果があります。ビタミンCも豊富で風邪予防に効果的！煮汁と一緒に取れる鍋料理などは、効果的に体内でコラーゲンの生成を助けてくれて、喉、鼻など粘膜も強化してくれるそうです。

逆に、レタスやキュウリは夏の野菜！体を冷やすす働きがありますよ。今食べるのは冬野菜！間違えないで下さいね。



1月の予定表

- 10日(木) 音楽で遊ぼう！(さくら組・すみれ組)
- 11日(金) 身体測定
- 12日(土) 保育研究会主催講演会
『叱ったあとの「ひと言」で子どもが変わる』
- 15日(火) どんと焼き
- 16日(水) 発表会現地リハーサル
- 17日(木) 発表会現地リハーサル・弁当の日
- 19日(土) 保護者劇リハーサル(さくら組保護者)
- 20日(日) 発表会 9:00~12:00 会場：グラントワ小ホール
- 22日(火) 避難訓練
- 23日(水) 誕生会
- 24日(木) お茶(さくら組)
- 25日(金) 英語で遊ぼう！(さくら組)
- 29日(火) 原浜保育所との交流保育(さくら組)
道川小学校で雪遊び
- 31日(木) 音楽で遊ぼう！(ゆり組・もも組2才児)

「お弁当の日」

さくら組・すみれ組・ゆり組…お弁当をご用意ください。
出張等、ご家庭の都合によりお弁当の用意ができない場合はご相談ください。給食を用意します)

もも組…お弁当 or 給食のセレクトです。

給食ご希望の場合は空のお弁当箱をご持参ください。給食を詰めて、みんなと一緒に弁当気分を楽しみます。事前に希望調査用紙を配布します。

つくし組…幼児食のお子様はお弁当 or 給食のセレクトです。
離乳食のお子様には給食を用意します。

1月生まれのおともだち

6日	猪俣 てんさん	6才
13日	前山 とわさん	3才
20日	野村 さえこさん	3才
24日	神崎 りささん	4才
25日	境 あおいさん	3才

おめでとう



12月27日(木)卒園児交流スケート教室を行いました。



園児は、スケート靴を一人であまく履けません。だから保護者参加があるととても助かるのです。

参加して下さったお父さんお母さん、お手伝いして下さってありがとうございました。



さくら組(年長児)さんと、昨年度卒園の小学1年生と、7年前に卒園した中学1年生と、参加してくれた保護者の方々とで、スケートを楽しみました。

＜本の紹介＞

「はなちゃんのみそ汁」安武信吾・千恵・はな著

がん余命宣告された母親が、当時5歳の娘に「食べることは生きること。1人でも生きられる力を身につけて」と、みそ汁の作り方を教えた後33歳で亡くなりました。はなちゃんは、お母さんに教えられたとおり、毎朝みそ汁をつくっています。乳幼児期の子どもに教えなければならないことは、身に付けさせるべきことは何か…を、考えさせてくれる本です。

「お母さんは命がけであなたを産みました」内田美智子著

益田に何度か来られたことがあって、この吉田保育所にも足を運んで下さった助産師の内田美智子さんが、“16歳のための命の教科書”として書かれた本です。思春期の子ども達に是非届けたいけど、親が読んで心にも響く本です。

～親は子どもの命が喜ぶことをしてあげれば良い～ 命が大切だということを、どうやって子どもに伝えていくのか…ということが、次第にわかってくる本です。

★どちらの本も保育所に貸し出し用を用意しています。ご利用下さい。

年末、末娘を迎えに、孫二人を連れて広島へ行きました。そして、噂に聞いていた「ポーランドあそびのせかい」へ孫たちを連れて行ってみました。

マツト式のトランポリンやお人形ハウス、ツリーハウス、ボールプールなど様々な遊具があって、寒い日も室内で思い切り遊べますが、お金がかかります。何よりも決定的な問題は、子どもがそれぞれ自由に遊び、互いの関わりがないことです。

だから、たまにはいいけれど、日常的に過ごすのはやっぱり保育所がいいなと思いつつ帰りました。色んな人と関わる力を身に付けながら育つことがとても重要だと思っております。

仲間がいて、一緒に遊ぶ楽しさを知りながら、協力し、なにか困ったら助けたり助けてもらったり、邪魔をされたら嫌な気持ちになることを知り、たびたびぶつかり合うことで仲直りの方法を学び、そんなことを何度も何度も経験して、人とうまく関わる知恵や方法を身に付けながら育つことは、少子化できようだいが少ない今の子ども達には、とても重要だと思っております。

学校でも社会に出ても、様々な人と関わり合います。うまく関わる力が育っていないと、いろんな問題が起きてしまうのではないかと心配します。